



小郡市長
平安 正知

新年明けましておめでとうございます。

平成27年の輝かしい新春を迎え、市民の皆さまのご健勝とご多幸を心よりお慶び申し上げます。また、平素より、市政に対する温かいご理解とご協力を賜わりまして、厚くお礼申し上げます。

昨年の動きを見てみますと、わが国の経済は消費税率の8%への引き上げや、円安による貿易赤字の拡大、少子高齢化や団塊の世代引退に伴う労働力の低下などの不安要因が多く、景気の先行きに明るい見通しが立たない状況が続いております。

その影響から今年10月に予定されておりました消費税率の10%への再引き上げは1年半延期され、衆議院も解散いたしました。

また、少子高齢化の進展やライフスタイルの多様化、大雨などの激甚化する気象災害や地震をはじめとした自然災害への対応、複雑化する国際社会への対応など、社会環境の激変の中にある、年金や医療などの社会保障制度改革をはじめ社会・経済構造そのものの改革が押し進められようとしております。

広報おごおりで掲載した平成26年の主な出来事を振り返ります。()は広報掲載号

第36回ロードレース大会に 川内優輝選手が出場



ゲストランナーとして川内優輝選手、鈴木博美選手、小嶋由水選手が出場しました。(4月15日号)

ふれあい館三国図書室 リニューアルオープン



リニューアルを記念して、平安市長と清武教育長による絵本の読み聞かせが行われました。(2月15日号)

本郷基山線開通 記念式典



県が整備を進めていた都市計画道路本郷基山線が開通しました。市への交通アクセスが向上し、さらなる活性化が期待されます。(5月1日号)

景観行政団体 になりました



小郡市の豊かな景観資源を次世代に引き継いでいくために、景観形成に必要な施策および景観計画の策定を進めています。(4月1日号)

図書館貸し出し 1千万冊突破



図書館開館26年目にし、貸出冊数が1千万冊を突破しました。(3月1日号)

小郡市におきましてもこのような流れとは無縁ではなく、様々な課題に直面しております。

そこで私は、子育て支援や教育の充実、社会教育の進展による「こども共育で心豊かなひとづくり」、恋人の聖地に認定された七夕神社とその周辺地域や小郡官衙遺跡、松崎宿と油屋をはじめとした歴史遺産、花立山や宝満川などの恵まれた自然環境等、地域の特性を活かした「地域活力にあふれたふるさとづくり」、健康づくり事業や高齢者生きがい対策の推進、福祉の充実、安全安心のまちづくりによる「健康で安心して暮らせるまちづくり」の実現に向けて取り組みを進めていかなければならないと、気持ちを新たにしているところであります。

市民生活の現状や課題を認識し、改善に向けた方策を探り、市民生活のさらなる向上を目指すためには、まちづくりへの市民参画の機会を拡充するとともに、積極的な情報公開に取り組み、市民と行政が共に将来について考えていくことが必要であると考えております。「市民との協働によるまちづくり」の実現に向けて、市民と行政が一体となってまちづくりに挑んでまいります。

どうか、今後とも、市民の皆さまをはじめ、市議会、関係機関・団体などの多くの方々の変

わらぬご理解とご協力をお願い申し上げます。
終わりに、今年が皆さまにとりまして、素晴らしい年となりますことを心よりお祈り申し上げます。年頭のごあいさつといたします。

平成 26 年 振り返る 広報

市有形文化財の指定

薩摩街道筑後国境石→
↓佐ノ古逆修一字一石・板碑



薩摩街道筑後国境石(乙隈境石)と佐ノ古逆修一字一石・板碑を市の有形文化財に指定しました。(11月1日号)

七夕神社に「恋人の聖地」 銘板設置



平成25年10月に「恋人の聖地」に選定されたことを記念し、銘板が設置されました。(6月1日号)

広報おごおり 600号発行



昭和38年10月に創刊された広報おごおりが600号を迎えました。これからも皆さまに愛される広報紙づくりに尽力します。(11月1日号)

幸正佳さんが重要無形 文化財保持者に認定



日本の伝統技能である「能楽」の幸流小鼓方十九世宗家の幸正佳さん(小郡市在住)が、国の重要無形文化財保持者に選ばれました。(9月1日号)

小郡市消防団 全国大会へ



小郡市消防団が、「第23回県消防操法大会自動車ポンプの部」で優勝し、福岡県代表として全国大会に出場しました。(10月1日号)